

学習活動プログラム（例）

論田川を学ぼう

◇ねらい：校区を流れる論田川の特徴について県図書館が所蔵する地図資料等を使い、歴史的・地理的な側面から理解を深める。

◇対象：小学校5・6年生（30人程度まで対応可能）

◇活動時期：常時

◇所要時間：60分

◇講師：岐阜県図書館郷土・地図情報係職員

◇費用：なし



昭和11年 新水路建設当

活動展開例	備考
1 地図を使って川の位置を知る ・岐阜市 ^{しよつび} 菖蒲池 2970 番地 ^{あらた} 先荒田川合流点にいたる、一級河川。	【講師】 ・岐阜県図書館郷土地図情報係職員
2 資料を使って川の歴史を知る ① 昭和初期の忠節用水の付けかえ工事 ・大正10年の長良川上流の工事で、長良川の水位上昇。 ・岐阜市の都市化により生活・工場排水のための用水汚染。 →新水路の建設。完成昭和11年：鏡島村や市橋村へ水が送られ、鏡島や西荘、市橋などの地域で米の収穫量増加。 ② 昭和36年6月の梅雨前線による集中豪雨により、大きな被害が出た ・総雨量593mm、403年に1回と言われた。 ・国道21号線は1週間通れなかった。 →ポンプ計画と工事（荒田論田川排水機場）昭和45年完成 ③ 昭和51年9月の洪水 ・総雨量800～1000mm。忠節橋の警戒水位突破79時間。 →第二排水機場の建設。昭和55年完成	【講師】 ・岐阜県図書館郷土地図情報係職員
3 昔と今の地図を比較し、川の流れや土地の使い方の変化を知る ・明治24年測量の地図（近代測量に基づいた地図として最も古いもの）と比較し、現在は、川の流れが直線的に変わり、宅地としての利用が増えたことが分かる。	【講師】 ・岐阜県図書館郷土地図情報係職員
4 地図（千分の1地形図）を使って論田川の傾斜の少なさとその課題を学ぶ ・論田川は高低差の少ない平坦な土地を緩やかに流れる。それ故に長良川が増水すると逆流が起こる。	【講師】 ・岐阜県図書館郷土地図情報係職員

～活動を計画するにあたって～

- 資料は岐阜県図書館で用意します。必要な枚数を事前に伝えてください。
- 活動に必要な用具は各自で用意してください。
 - ・筆記用具
 - ・色鉛筆（色ペン）
 - ・計算機